ふしぎがいっぱい（３年）　「ひらけ！ふしぎのとびら」利用案

多摩市立西落合小学校　坂野　真貴子

【単元のねらい】

身の回りの生物の様子やその周辺の環境について興味・関心をもって追究する活動を通して、身の回りの生物の様子やその周辺の環境とのかかわりを比較する能力を育てるとともに、それらについての理解を図り、生物を愛護する態度を育て、身の回りの生物の様子やその周辺の環境との関係についての見方や考え方をもつことができるようにする。

【番組の利用にあたって】

「身近な自然の観察」は、初めての理科の単元となる。これから始まる理科の学習について興味・関心をもって取り組むことができるようにするとともに、理科の学習の基盤となる自然体験活動を充実させることが大切になる。そこで、単元の始めに番組を利用することで、「もっとくわしく観察してみたい」「学校にある植物はどうなっているのだろう」等、観察に対する意欲を高めることができるものと思われる。

○：学習活動　◇：支援　◆：番組　■：クリップ　▲：ワークシート

次	時	学習活動	教師の支援
第一次 生き物をさがそう	1	○校庭に出て、植物や動物をさがす。 ・チューリップやタンポポが咲いているね。 ・テントウムシとモンシロチョウを見つけたよ。 **◆「ひらけ！ふしぎのとびら」** **番組視聴（10 分）**	◇活動範囲を決め、安全に観察できる場所で行うようにする。 ◇動植物を大切に扱うように事前に指導する。

<table>
<tr><td rowspan="2">第二次

植物を観察しよう</td><td rowspan="2">2・3</td><td colspan="2">校庭の植物はどのような様子をしているのだろうか。</td></tr>
<tr><td>観察１

○校庭にある植物の中から、観察したい植物を選び、観察する。
・チューリップの花の色は、いろいろあるね。
・タンポポの花は全部、黄色いね。
○観察カードに気付いたことを記録する。
・タンポポの葉はギザギザしているね。
・チューリップの高さは、何センチあるか調べてみよう。
○観察カードをもとに気付いたことを話し合う。
・タンポポの葉はギザギザしているけれど、チューリップの葉は、細長くてツルツルしている。</td><td>◇色や形、大きさ、模様などの観察するポイントを話し合っておき、視点を定めるようにする。
◇諸感覚を使って観察するようにする。

◇観察したい部分は、虫眼鏡を使用するようにし、安全な使い方について指導する。
◇観察する視点をもとに、カードに記録するようにする。

◇植物同士を視点をもとに比較しながらその特徴を話し合うようにする。

◇観察したことをもとに、植物クイズやビンゴゲームを作ってもよい。</td></tr>
<tr><td colspan="3">植物は、それぞれ色や形、大きさなどの姿がちがう。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第三次

動物を観察しよう</td><td rowspan="2">4・5・6</td><td colspan="2">校庭の動物はどのような様子をしているだろうか。</td></tr>
<tr><td>観察２

○校庭にいる動物を探し、観察する。
・ダンゴムシは、落ち葉の下にいた。
・テントウムシは、体に模様がある。
・アリは土の中に巣を作っていたよ。

○観察カードをもとに気付いたことを話し合う。
・ハチやチョウは、花の蜜を吸っていた。
・バッタは草むらで草を食べていた。
・動物は、食べ物があるところやかくれやすところにいるんだね。</td><td>◇色や形、大きさ、動き、いた場所等、視点をもとに観察するようにする。
◇透明のプラスチック容器などに入れて観察し、観察後はもといた場所に戻すようにする。

◇観察した動物がなぜそこにいたのか考え、話し合う。

◇動物のいた場所と食べ物やすみかとのかかわりについて考えるようにする。</td></tr>
<tr><td colspan="3">動物は、それぞれ色や形、大きさなどの姿がちがう。
動物は、食べ物があるところやすみやすいところで生活している。</td></tr>
</table>